

第2学年 算数科学習指導案

令和元年10月29日（火）第5校時

- 1 単元名 かけ算（2） 九九をつくろう
- 2 単元について

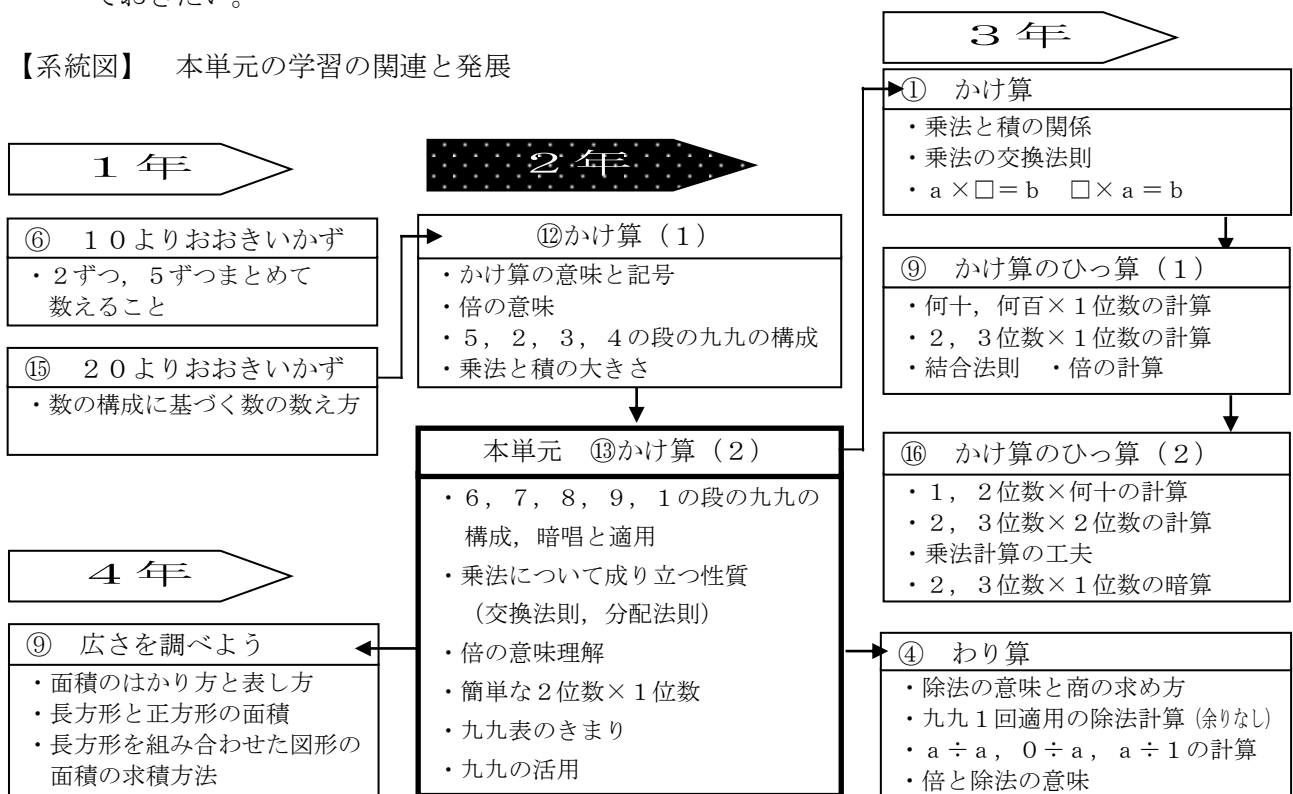
(1) 本単元のねらいと教材観

本単元は、『小学校学習指導要領算数編』には以下のように設定されている。

第2学年
A 数と計算
(3) 乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。
ア 乗法が用いられる場合について知ること。
イ 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九に構成したり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。
ウ 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えること。
エ 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えること。
D 数量関係
(2) 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。


これを受け、本単元のねらいは、前単元で学習した乗法の意味、および5, 2, 3, 4の段の九九に続いて6, 7, 8, 9, 1の段の九九を扱い、これによって九九を完成させることである。児童は、第2学年第11単元『かけ算（1）』で、1つ分の大きさが決まっているときに、そのいくつかにあたる大きさを求める場合に乗法が用いられること、同じ数を何回も加える累加の簡潔な表現として乗法による表現が用いられることを学習している。本単元では、さらに進んで、6, 7, 8, 9, 1の段を構成する学習において、①「乗法が1増えると積は被乗数分増える」という乗法の性質、②「被乗数と乗数を入れ替えても積は変わらない」という乗法の交換法則、③分配法則、などを活用して、児童自ら九九を構成していくことを重視する。本単元の学習は、第3学年『わり算』や、『かけざんのひっ算（1）』につながっていくため、確実に習得させておきたい。

【系統図】 本単元の学習の関連と発展



(2) 児童の実態

9月27日(金)実施 実施人数 名 (%)

	問題	正答	誤答例	問題のねらい	正答率	
1	5の4つ分をあらわしているしきはどれですか。 記号で答えましょう。 ア 5 + 4 イ 4 + 4 + 4 + 4 ウ 5 + 5 + 5 エ 5 × 4 オ 4 × 5 カ 4 + 5	エ	・ア ・オ	・乗法の意味が分かっているか。		
2	①りんごがさらにのっています。□にあてはまる数を書きましょう。  りんごが1さらに □こずつ □さら分	2こずつ 4さら分	/	・乗法の意味が分かっているか。		
	②りんごの数をもとめるしきは □ × □ = □	2 × 4 = 8		・ 2 × 4 = 6	・ 1つ分 × いくつ分 = 全部の数の意味が分かっているか。	
	③りんごが もう1さら分ふえと、りんごの数は□こふえます。	2こ		・ 10こ	・ 1つ分がわかるか。	
3	1だいのじどう車に3人ずつのっています。じどう車は4だいあります。のっている人は、みんなで何人ですか。 しき _____ こたえ _____	式 3 × 4 答え 12人	/	・「1つ分の数」 × 「いくつ分」をとらえて、乗法の式を立式し、答えをもとめることができるか。		
				・ 11人		
4	公園で子どもが4人遊んでいます。3人きました。子どもは、みんなで何人になりましたか。 しき _____ こたえ _____	式 4 + 3 答え 7人	・ 4 × 3 ・ 無回答(2) ・ 12人 ・ 単位忘れ ・ 無回答(2)	・ 加法の立式ができるか。		
5	長いすが3つあります。1つの長いすに4人ずつすわると、何人すわれますか。 しき _____ こたえ _____	式 4 × 3 答え 12人	・ 3 × 4 ・ 無回答(3) ・ 9人・11人 ・ 単位忘れ ・ 無回答(3)	・「1つ分の数」 × 「いくつ分」をとらえて、乗法の式を立式し、答えをもとめることができるか。		
6	① 6 × 4	24	・ 21・26 ・ 無回答(6)	(未習内容) ・ 6の段, 7の段, 8の段の九九を知っているか。		
	② 7 × 5	35	・ 28・25・36 ・ 40・30 ・ 無回答(9)			
	③ 8 × 2	16	・ 26 ・ 無回答(7)			

【考察】

問題1について

○ほとんどの児童が、乗法の意味を理解していることが分かった。

問題2について ①②③

○①②ほぼ全員が「□この○さら分」を理解し、立式することができることが分かった。

▲③では、「もう1さら分増えると」と、1つ分の数が増えることを聞いているが、全部の数を求めていた。問題をよく読まず解答してしまうことが原因と考えられる。

問題3について

○「1つ分×いくつ分」の意味を理解して、立式することができる。

○乗法の立式は「1つ分×いくつ分」であることが定着しつつある。

問題4について

○問題を理解して、この場合は「同じ数ずつのまとまり」ではないことに気づき、加法の立式をすることができる。

▲問題をよく読まず、乗法の立式をしている。読解力に課題がある。

▲「1つ分」「いくつ分」を問題から見つけることについては、十分に理解していないことが原因と考えられる。

問題5について

▲問題文では、「いくつ分」「1つ分」の順に書かれているため、立式を間違えてしまっている。

問題を読んで「1つ分」は何か、「いくつ分」は何か、を理解していないと考えられる。また、問題の内容を理解することができない児童が多いと考える。

問題6について (未習内容)

- ・かけ算は、たし算で求められることを学習しているため、かけ算九九を習得していなくても答えを求めることができる児童がいた。
- ・数字が大きいと、計算ミスをする児童もいた。

以上のことから、「1つ分」「いくつ分」という乗法の意味については、概ね理解していることが分かった。しかし、文章を読み取って「1つ分」「いくつ分」を考え、立式することが難しい児童が少なくない。問題場面においては、具体物を操作したり、アレイ図を使ったりして「1つ分」「いくつ分」を理解させ、乗法の意味を確実に定着させ、3年生につなげたい。

(3) 指導観

本単元では、6, 7, 8, 9, 1の段の九九を扱い、九九表を一通り構成できるようにする。そして、倍の意味を深め、乗法に関して成り立つ性質やきまりを使って簡単な場合の2位数と1位数の乗法の仕方について学習していく。児童は、既習事項を踏まえ、九九の構成や九九を覚えることには意欲的に取り組むと考えられる。しかし、活用する力には課題があり、個人差も大きいと、個に応じた指導が必要になるだろう。また、乗法九九の表を構成したり、観察したりすることを通して、自ら計算の性質やきまりを発見できるようにし、発見する楽しさを味わわせ、乗法を総合的に活用していろいろな問題を解決できるようにする。

【小1単元】では、6の段、7の段の九九について取り扱う。ここでは、前単元で扱った「乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増える」という関係を積極的に活用して九九を構成することができるようにする。

①「乗法が1増えると積は被乗数分だけ増える」という関係を積極的に活用して構成させるようにしたい。

②6の段でも被乗数と乗数を入れ替えても積は変わらないこと(交換法則)や、 6×3 の答えは、 4×3 と 2×3 の答えをたした数になっていること(分配法則)を確かめさせる。

③連続量の場合にも乗法が使えることを意識させながら、7の段の九九を構成させるようにする。被乗数と乗数を入れ替えても積は変わらない性質を活用することによっても構成することができることを経験させたい。

【小2単元】では、第1単元での学習を基にして、8の段、9の段、および1の段の九九について扱う。九九の構成にあたっては、前時までに九九の構成で活用した計算の性質やきまりを理解し、児童が自ら構成できるようにしていく。

- ① 8の段でも、既習の乗法の性質やきまりを活用し、児童自身で九九を構成していくようにするが、多様な考えを認めるようにしたい。
- ② アレイ図を用いて、9の段が6の段と3の段の和や、5の段と4の段の和になっていることにも気づかせるようにする。

【小3単元】では、同じ□倍でも、基準量が異なれば比較量も異なることを扱い、「倍」の意味についての理解を深める。

- ① 「○の□倍」を求めるところには乗法の式を用いることを確認する。同じ3倍であっても、基準量が変わることを理解させる。具体物を利用し、操作をしながら理解を深めるようにする。

【小4単元】では、九九表を見ながら、今まで活用してきた計算の性質のきまりを意識するとともに、それらを使って、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の計算を扱う。

- ① 九九表を見ながら、乗法に関する性質（乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増える）や、乗法の交換法則を確認する。自力解決で、性質やきまりが発見できるよう支援していく。
- ② 乗法の性質やきまりを使って、九九表を広げる。既習事項を使い、課題解決に取り組み、学び合いによって理解を確実にしたい。

【小5単元】では、乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解をさらに深めるようにし、4学年で学ぶ図形の面積への求積方法につなげていく。

(4) 研究主題 「自己の学びを深めることができる児童」に迫る手立て

本単元で求める具体的な子どもの姿

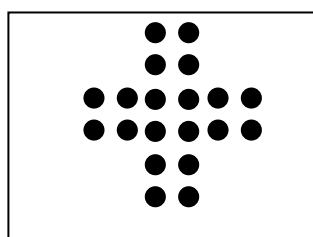
○ かけ算において、「1つ分の数×いくつ分」を理解し、根拠をもって立式できる子

① 個に応じた指導・支援や個を生かした指導・支援

ア ゴール問題の設定

「1つ分の数」を意識して、「1つ分の数×いくつ分の数」を使って解決できるようにする。

- ◎ 同じ数のまとまりをつくり、「1つ分の数×いくつ分の数」の立式をし、その根拠を図や言葉で説明することができるようにする。



・ 1つ分の数4つ 5つ分 $4 \times 5 = 20$ 答え 20こ

・ 1つ分の数6つ 2つ分 1つ分の数4つ 2つ分
 $6 \times 2 = 12$ $4 \times 2 = 8$ $12 + 8 = 20$ 答え 20こ

・ 1つ分の数5つ 4つ分 $5 \times 4 = 20$ 答え 20こ

イ 単元における指導体制

本単元につながる学習内容については、学級内における個人差が顕著である。しかし、個人差を生かして学び合いをしたり、つまずきを取り上げて指導したりすると、学習内容について理解を深めることができる。よって、T・Tや少人数は行わず、担任が指導していく。児童一人一人が安心して主体的・対話的で深い学びをすることができるよう、本単元では通常の学級で指導していく。

ウ 個に応じた指導・支援体制の工夫（数学的な考え方）

単元を通して数学的な考え方などの変容を見取することを目的に、前単元における児童の理解度やつまずきの程度を把握し、個別の支援に活用する。教師や友達に助言を求めたり、友達同士で教え合ったりしながら効果的な指導・支援ができるようにする。

エ 基礎・基本となる学力の定着（技能や知識・理解）

単元全体を通して、前時とのつながりを確認し、繰り返し取り扱うことで技能や知識を確実に習得させる。また、適用問題に取り組む時間を確保し、一人一人が必ず達成することができるようにする。

【小1単元】…乗法九九6，7の段の構成・暗唱

【小2単元】…乗法九九8，9，1の段の構成・暗唱

【小3単元】…倍の定義の意味

【小4単元】…乗法の性質やきまり

【小5単元】…乗法九九の活用

② 全員が参加できるようにするための手だて

主に「つかむ」「見通す」場面

○学習内容の関連付け

オ 「1つ分の数×いくつ分」を意識させることで、見通しをもち、学習を進めていく。

○問題を把握できるようにするための工夫

カ 問題文を具体物の操作や図などで表すことで、問題の条件をとらえられるようにする。

キ 問題文の「分かっていること」「聞かれていること」「答えの単位」にしるしをつけ、学習内容を整理する。

○問題提示の工夫

ク 具体物や半具体物で問題を提示し、イメージしやすくする。

ケ 身近な生活場面に即した問題や必要感が生じるような問題を提示し、児童の学習意欲を喚起してから課題作りをする。

コ 児童の知的好奇心を喚起するような問題を提示し、児童と共に課題作りをする。

サ 児童が意欲をもって考え表現できるよう、「既習事項を生かす課題」「多様な解決方法がある課題」「解決した後に発展的に考えることができる課題」を提示する。

○見通しのもたせ方の工夫

シ 前時の学習内容と比べて、違うところを見つけ課題解決への見通しを持たせる。

ス 既習学習を生かして、課題解決の見通しを持たせてから、自力解決に進むようにする。

セ 立式の場面では、半具体物や図、言葉の式をもとにして、演算決定の根拠をもてるようにする。

ソ 解決の見通しと答えの見積もりをもたせてから自力解決に取り組むようにする。

○用語の使い方や約束ごとの明確化

タ 今までの学習で用いた考え方やそれに関する言葉、ノート書き方、表現方法などを「算数コーナー」に掲示し、いつでも確認できるようにしておく。

「1つ分の数」×「いくつ分」 「かけられる数」 「かける数」

③ つながりの目をもって学び、理解を深めるための手だて

主に「考える」「深める」場面

○自力解決の工夫

チ 具体物を用いた活動を通して、自分の考えを表したり深めたりすることができるようにする。

ツ ヒントカードを段階別に用意し、自分の考えに合ったものを選択できるようにする。

テ 「お話タイム」を設け、教師や友達に助言を求めたり、教え合ったりすることで理解を深める。

○理解を深めるための発表・話し合いの仕方の工夫

ト ペアやグループでの話し合いの場を設定することで、自信をもって自分の意見を友達に伝えることができるようにする。

ナ 友達の話聞いて「共通点・相違点」を見付け、互いのよさを認め合うことで、考えを深めさせる。

ニ 話し合いのポイントを焦点化することで、グループ全体の考えのまとめ方を指導する。

- ヌ 課題に対する児童の反応（つまずき等）を予想し，類型化する。類型化したものをマークなどで簡素に表し，「座席表」に記入しておき，話し合いに参加できるようにする。
- 短時間で児童の反応を見取るための工夫
 - ネ 前単元における児童の理解度を把握し，課題に対する児童の反応を予想し個別の支援に活用する。（理解している◎ つまずいている△）
 - ノ シグナルカードを活用し，児童の理解度や進行度を把握して対応する。
（緑→順調に進んでいる 黄→悩んでいて進まない）
- つながりの価値付け
 - ハ 既習事項を振り返りながら考えたり，今までの学習と「同じところ・違うところ」に気づいたりしている児童を称賛し，つながりを意識して学んでいることを価値づけていく。

主に「まとめる」「ふりかえる」場面

- 児童の言葉を用いたまとめ
 - ヒ 板書のキーワードとなる言葉に注目させ，児童から言葉を引き出してまとめる。穴埋め形式にすることで，自己の学びを深める。
- 自己評価の工夫
 - フ 自己の学びを振り返り，自分の成長の跡が分かるよう，学習後に「理解度」「満足度」とその理由を書かせる。それを活用して児童一人一人の学習状況を把握し，次時の指導につなげる。

3 単元の目標

◎乗法の意味について理解を深め，それを用いることができるようにする。

- ・乗法について成り立つ性質やきまりを用いることよき気づき，乗法九九の構成や計算の仕方を考えることに活用しようとしている。（関心・意欲・態度）
- ・乗法について成り立つ性質やきまりを用いて，乗法九九の構成の仕方を考え工夫し，表現することができる。（数学的な考え方）
- ・乗法九九（6，7，8，9，1の段）を構成し，確実に唱えることができる。（技能）
- ・乗法九九について知り，乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にする。（知識・理解）

4 単元の指導計画（17時間扱い）

項目	時	学習内容	数学的活動	○指導上の留意点 ◎研究主題にせまるための手立て ・・・記号
6のだん・7のだんの九九	1	●6の段の九九の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・6の段の九九の構成の仕方について考える。 ・累加や乗数と積の関係など既習の考えを活用して，6の段の九九を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで行ってきた九九を構成する学習を振り返り，つくらせるようにする。 ◎オ ◎カ ◎ク
	2	●6の段の九九の暗唱と適用	<ul style="list-style-type: none"> ・6の段の九九を唱え，カードなどを使って練習する。 ・6の段の九九を見直し，九九表やアレイ図などを基にして，交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○九九カードなどを用いて，練習させる。 ○交換法則と分配法則を確認する。 ◎チ ◎テ ◎ト

	3	● 6の段の九九を用いた問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 6の段の九九を用いて問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1つ分の数」「いくつ分」に気づかせる。 アレイ図をかいて立式を考えさせる。 ◎キ ◎セ ◎ツ
	4	● 7の段の九九の構成	<ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九の構成の仕方について考える。 累加や積と乗数の関係に加え交換法則など既習の考えを活用して、7の段の九九を構成し、九九表に答えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て、テープの長さが7cmずつ長くなっていることに気づかせる。 同数累加、前の答えに7ずつたしていく方法、交換法則、分配法則を用いて考えさせる。 アレイ図を用いてその根拠を明らかにさせる。 ◎オ ◎カ ◎ク
	5	● 7の段の九九の暗唱と適用	<ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九を唱え、カードなどを使って練習する。 7の段の九九を見直し、九九表やアレイ図を基にして、交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 九九カードなどを用いて、練習させる。 交換法則と分配法則を確認する。 ◎チ ◎テ ◎ト
	6	● 7の段の九九を用いた問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 7の段の九九を用いて問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1つ分の数」「いくつ分」に気づかせる。 アレイ図をかいて立式を考えさせる。 ◎キ ◎セ ◎ツ
8の段・9の段・10の段の九九	7	● 8の段の九九の構成	<ul style="list-style-type: none"> 8の段の九九の構成の仕方について考える。 既習の性質やきまりを活用して、いろいろな方法で8の段の九九を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考えで九九を構成していることを認め、アレイ図で確認させる。 同数累加、前の答えに8ずつたしていく方法、交換法則、分配法則を用いて考えさせる。 ◎オ ◎カ ◎ク

8	<ul style="list-style-type: none"> ● 8の段の九九の暗唱と適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8の段の九九を唱えたり、カードを用いたりして練習をする。 ・ 8の段を用いて問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8の段は6の段+2の段でもつくることができることをおさえさせる。 (交換法則・分配法則) ○ 既習の九九について成り立った性質やきまりが8の段でも使えることを、アレイ図を用いて確かめさせる。 ○ 「1つ分の数」「いくつ分」に気づかせる。 ○ アレイ図をかいて立式を考えさせる。 ◎チ ◎テ ◎ト
9	<ul style="list-style-type: none"> ● 9の段の九九の構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9の段の構成の仕方について考える。 ・ 既習の性質やきまりを活用して、いろいろな方法で9の段の九九を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な考えで九九を構成していることを認め、アレイ図で確認させる。 ○ 同数累加、前の答えに9ずつたしていく方法、交換法則、分配法則を用いて考えさせる。 ◎オ ◎カ ◎ク
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 9の段の九九の暗唱と適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9の段の九九を唱えたり、カードを用いたりして練習をする。 ・ 9の段を用いて問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9の段は7の段+2の段など、ほかの組み合わせでもつくれることをおさえさせる。 (交換法則・分配法則) ○ 作問活動を取り入れることにより、算数を生活の中で積極的に活動していこうとする意欲を高めさせる。 ○ 被乗数と乗数の関係について確認する。 ◎チ ◎テ ◎ト
11	<ul style="list-style-type: none"> ● 1の段の九九の構成 ● 1の段の九九の暗唱と適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面をとらえ、1×6の式からかけ算の意味を確かめる。 ・ 1の段の九九を唱える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1個の6つ分であることをアレイ図で確認し、これまでと同様に乗法の式で表せることをおさえる。 ◎オ ◎カ ◎ク ◎チ ◎テ ◎ト
	<ul style="list-style-type: none"> ● 九九の習熟・定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九九を、答えの大きい方から唱えたり、交互に唱えたりする活動に取り組む。 ・ 「算数のおはなし」を読み、九九の由来について関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなしかたで、九九を練習させる。 ○ 自分が苦手な九九の段があれば、発見し練習させる。 ◎ト

ばいとかけ算	12	●倍を用いた問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・ア、イのテープの3倍の長さ に色を塗り、基準とする長さ によって「3倍」の長さが異 なることをおさえる。 ・ア、イのテープの3倍の長さ の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「倍」の意味が理解できてい ない児童には、操作活動を取り 入れ、「○のいくつ分」、 「○cmの何倍」について実 感を伴った理解をさせたい。 ○基準量が違うと、同じ□倍で も、比較量が違うことをとら えさせる。 ◎オ ◎ス
九九のひょうときまり	13	●乗数と積の関係、乗法 の交換法則の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・九九表を見て、これまで九九 の構成で用いた乗数と積の 関係や、乗法の交換法則を確 認する。 ・分配法則について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○6～9の段の九九を構成し た学習を見直して、気づいた ことを振り返らせる。 ○九九の答えを忘れたときに も、このきまりを用いると答 えを求めることができること に気づかせる。 ○分配法則、交換法則について 確認させる。 ◎ス ◎テ ◎ナ
	14	●乗法の性質やきまりを 使って、簡単な場合の 2位数と1位数の乗法 の答えの求め方を考えること	<ul style="list-style-type: none"> ・九九表を基に、学習してきた 性質やきまりを用いて、被乗 数が2位数の乗法について 答えの求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習の乗法の性質や交換法 則、分配法則などを用いれ ば、求められることに気づか せる。 ◎ス ◎テ ◎ナ
もんだい	⑮	●乗法九九を総合的に活 用した問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの数のいろい ろな求め方を、図を基に考え る。 ・それぞれの考え方を発表し、 検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「1つ分の数」「いくつ分」 に気づかせる。 ○チョコレートの場所を動か して1つ分のまとまりをつ くると、1つの式で求められ るよさを味わわせる。 ○分配法則、交換法則について 確認させる。 ○同じ数のまとまりをつくり、 乗法を使って計算している ことが似ていることに気づ かせる。 ○それぞれの考えの共通点か ら、工夫すると乗法を使って 求めることができるよさを おさえさせる。 ◎オ ◎カ ◎ツ ◎テ ◎ナ ◎ヌ ◎ヒ ◎フ
まとめ	16	●学習内容の習熟 (力をつけるもんだい)	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけるもんだい」に取り 組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「1つ分の数」「いくつ分」 に気づかせる。 ○アレイ図をかいて立式を考え させる。 ◎オ
	17	●学習内容の理解 (しあげ)	<ul style="list-style-type: none"> ・「しあげのもんだい」に取り 組む。 	

5 本時の学習指導

(1) 目標

○乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解を深める。

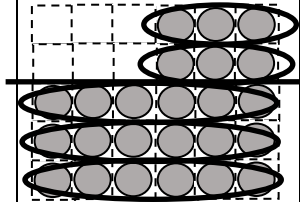
- ・ものの数の求め方を、乗法を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明している。
(数学的な考え方)

(2) 展開

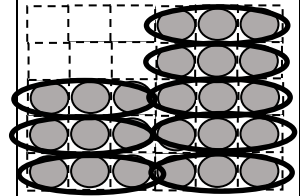
	学習活動	・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◎研究主題にせまるための手立て	評価 観点 (評価方法) →支援 ☆小中一貫教育の視点
つかむ・見通す(7分)	1 本時の問題を知る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ぜんぶでどこありますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートが入っていないところがある ・かけ算で計算したい 	◎問題文を具体物の操作や図などで表すことで、問題の条件をとらえられるようにする。 …カ	☆前単元2年(下) 「かけざん(1)」 とのつながり
	2 学習の見通しをもつ ・答えの見積もりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ分を見つけるといい (3つずつ・6つずつ) ・チョコレートを空いているところに移動させればいい ・$5 \times 6 = 30$ 30よりは少なくなりそう 	○「1つ分」に着目させ、かけ算がつかえそうだという見通しをもたせる。	☆前単元2年(下) 「かけざん(2)」 とのつながり 〈分配法則〉
	・既習事項を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ分×いくつ分 ・かける数とかけられる数を入れ替えて計算しても答えは同じ ・分けて計算してもよい 	◎「1つ分の数×いくつ分」を意識させることで、見通しをもち、学習を進めていく。…オ ○分配法則、交換法則について確認させる。	〈交換法則〉
3 本時の課題をつかむ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">かけざんをつかって、おかしの数をもとめよう。</div>	○「1つ分の数」「いくつ分」に気づかせる。		

4 自力解決する

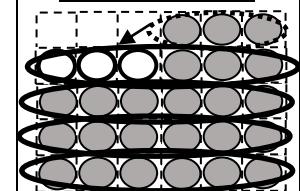
・1つ分 … 3つ
いくつ分… 2
 $3 \times 2 = 6$
・1つ分 … 6つ
いくつ分… 3
 $6 \times 3 = 18$
 $6 + 18 = 24$
答え 24こ



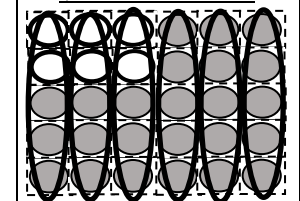
・1つ分… 3つ
いくつ分… 8
 $3 \times 8 = 24$
答え 24こ



3つ移動
・1つ分… 6つ
いくつ分… 4
 $6 \times 4 = 24$
答え 24こ



全体からひく
・1つ分… 5つ
いくつ分… 6
 $5 \times 6 = 30$
1つ分… 2つ
いくつ分… 3
 $2 \times 3 = 6$
 $30 - 6 = 24$
答え 24こ



- どこを「1つ分」と見たのかを○で囲ませる。
- ◎ヒントカードを段階別に用意し、自分の考えに合ったものを選択できるようにする。…ツ
- 自力解決が進まない児童には、おはじきを操作させイメージをもたせる。
- ◎「お話タイム」を設け、教師や友達に助言を求めたり、教え合ったりすることで理解を深める。…テ
- 「1つ分」「いくつ分」に着目して、友達に説明することを意識させる。

お話タイム

- ・考えがまとまっている
- ・せつめいできる

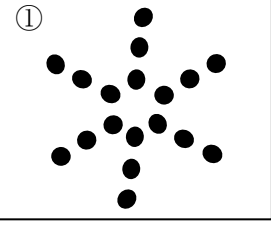
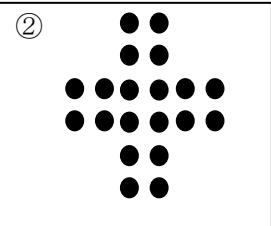
↓

- ☆ 黄色のシグナルカードの人にせつめいする
- ☆ みどりのシグナルカードの人と 考えをたしかめ合う。
- ☆ ほかの考え方がないか、じぶんのせきで考える

- ・考えうかばない
- ・分からない

↓

- ☆ みどりのシグナルカードの人に お話を聞く。
- ☆ ヒントカードをもらう。
- ☆ 先生と考える。

深める (15分)	<p>5 それぞれの考え方を出し合い、検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「1つ分」 ②「計算のしかた」 ③「答え」の視点で話し合い発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> みんな「1つ分」を見つけて、かけ算で求めている 「1つ分の数」がわたしと同じ かけ算とたし算をしている ひき算も使っている 「1つ分の数」がみんな違う いろんなかけ算がある みんなかけ算をしている 答えが24こなのと同じ 「1つ分」が分かれば、かけ算が使える 	<ul style="list-style-type: none"> ○「1つ分」をどう見たか、意識させて発表できるようにする。 ○「計算のしかた」に着目して話し合いを進めさせる。 ○「答え」に注目させる。 ◎課題に対する児童の反応を「座席表」に記入しておき、話し合いに参加できるようにする。…ヌ ○それぞれの考えの共通点から、工夫すると乘法を使って求めることができるよさをおさえさせる。 ◎友達の話聞いて「共通点・相違点」を見つけ、互いのよさを認め合うことで、考えを深めさせる。…ナ 	<p>考 (評価の重点)</p> <p>Aものの数の求め方を、乘法を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明している。</p> <p>←「1つ分の数」を何個にするかを工夫して考え、乘法の立式をし、図などを使ってその根拠を説明している。</p> <p>Bものの数の求め方を、乘法を用いて解決できるように工夫している。</p> <p>←「1つ分の数」を何個にするかを考え、乘法の立式をし、図などで表している。 (観察・ノート)</p>
まとめる (8分)	<p>6 学習したことをまとめる</p> <p>7 適用問題を解く ・P.45△の問題に取り組む</p>	<p>1つ分のまとまりをつくと、かけ算でもとめることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>②</p>  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎板書のキーワードとなる言葉に注目させ、児童から言葉を引き出してまとめる。穴埋め形式にすることで、自己の学びを深める。…ヒ ○1つ分×いくつ分の考え方を意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>4年 「長方形と正方形の面積」</p> </div>	<p>☆今後の学習へのつながり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>3年 「かけ算」</p> <p>「わり算」</p> </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ふりかえる (3分)</p>	<p>8 学習の振り返り をする</p>	<p>・自己評価をする <u>わかった</u> _____ 点 <u>まんぞく</u> _____ 点 りゆう</p>	<p>◎自己の学びを振り返り、自分の成長の跡が分かるよう、学習後に「理解度」「満足度」とその理由を書かせる。それを活用して児童一人一人の学習状況を把握し、次時の指導につなげる。…フ ○分かったことや気づいたことを書かせる。</p>	
---	--------------------------	--	--	--